

書籍「歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学」発売！

歴史を動かす壮大なエネルギーはなぜ生まれたのか、本書が謎を明かします

平成29年度会長特別委員会「安寧の公共学懇談会」では、土木とは何か、そして土木はどうあるべきかについて、この一年間議論を続けてきました。この議論の成果も踏まえた、懇談会委員による著書「歴史の謎はインフラで解ける 教養としての歴史学」(大石久和・藤井聡編著、産経新聞出版社)が、5月26日に発刊となります。本書では、土木がつくったインフラの基盤の上に私たちの社会が成り立っており、土木がなければ歴史、文化、社会、経済を動かす壮大なエネルギーが生まれなかったことを、歴史トピックスを紐解き解説しています。

収録トピックス(一部)

- ローマ文明を築いたのは「水道」だった
- なぜ京都は「千年の都」になったのか
- 信長の天下統一には土木の力が働いていた
- 幕府を倒したのは物流システムだった
- アメリカの歴史を変えたニューディール政策

記

■ 歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学

大石久和・藤井聡編著、産経新聞出版社、四六判並製 / 216ページ

本体1500円+税(会員の方は特価販売で販売いたします;添付図書注文書をご利用下さい)

添付資料:書籍チラシ、図書注文書

■ 書籍「歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学」出版記念講演会

出版記念講演会を下記の通り開催しますので、ぜひご参加下さい。

日時:2018年6月25日(月)18~20時

場所:土木学会講堂

プログラムと講演者:

1. 歴史学に空いた穴・・・理系の視点から(土木学会会長 大石 久和)
2. アメリカの歴史を変えたニューディール政策(筑波大学名誉教授 石田 東生 氏)
3. 歴史を動かすメイン・エンジン~ローマ帝国のインフラ(日本橋梁建設協会副会長 吉崎 収 氏)
4. 文化も歴史も社会も経済もすべて土木がつくっている(京都大学教授 藤井 聡 氏)

※ 講演会詳細、参加申込みは下記サイトをご参照下さい。

<http://committees.jsce.or.jp/chair/node/18>

■平成29年度会長特別委員会について:

第105代大石久和土木学会会長は、以下3つの会長特別委員会を立ち上げ、会長任期(2017年6月~2018年6月)中の成果・提言取りまとめに向けて活動を行っています。

①安寧の公共学懇談会、②レジリエンスの確保に関する技術検討委員会、③国土・土木とAI懇談会。詳細は委員会サイト(<http://committees.jsce.or.jp/chair/h29>)をご参照下さい。

以上

問合せ先: 公益社団法人 土木学会

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内 URL:<http://www.jsce.or.jp/>

(書籍販売に関するお問い合わせ) 出版事業課 書籍販売係

TEL: 03-3355-3445 E-Mail: pub@jsce.or.jp

(出版記念講演会に関するお問い合わせ) 会員・企画課 湯浅 岳史

TEL: 03-3355-3435 E-Mail: yuasa@jsce.or.jp